

キャリア教育とは、「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通じて、キャリア発達（＝社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程）を促す教育」と定義されています。その上で、キャリア教育で育む力として「基礎的・汎用的能力」が示されています。

（平成23年1月「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」中央教育審議会答申）

言い換えると、子どもたちが、社会の一員としての役割を果たすとともに、それぞれの個性、もちあじを最大限発揮しながら、自立して生きていくために必要な能力や態度を育てる教育です。

子どもたちが、学校で学んでいることと自分の将来を結びつけて考えたり、自分の興味や自分らしさに気づいて、それを伸ばしたり、自分で考えたりできるようになるためには、実際に社会で働いている人や職業と出会い、またそれを通して働くことの意義や喜びについて理解することが大切です。

そして、子どもたちがキャリア教育を通して学んだことを活かし、将来の生き方や進路に夢や希望を持ち、その実現に向けて、学校生活や学習意欲につなげていくことがキャリア教育を行うことの意義です。

子どもたちがこれから生きていく予測不可能な時代において、小中9年間を見通した連続性のあるキャリア教育を、学校の教育活動全体ですすめ、これからの時代に必要な資質・能力を育成する必要があります。



## 1. キャリア教育の成果と課題

各学校は子どもの課題に応じたキャリア教育の取組みをさまざますすめているにもかかわらず、学校間・校種間の連携が不十分で取組みの効果が見えてこないという課題がありました。そこで、あらゆる教育活動のもととなる「めざす子ども像（中学卒業後、10年後、20年後、子どもがどのように育ってほしいか）」や「つけたい力」を中学校区のすべての教員で共有し、キャリア教育という観点を持った小中9年間の系統的な取組みを基盤にした指導計画を中学校区で作成することに重点を置いてすすめてきました。

その結果、すべての中学校区で連携が進み、キャリア教育全体指導計画（以下、全体指導計画）が作成されました。

しかし、キャリア教育を通して子どもに「つけたい力」がついたのかを把握することや、取組みを検証・改善することにつながっていないことが課題となっています。

## 2. 課題を解決するために・・・「中心取組み」の設定

これらの課題を解決し、キャリア教育を充実させるためには、教員間で子どもに「つけたい力」や取組みの「ねらい」を共有し、キャリア教育の指導場面を明確にするとともに、子どもがどのように変容したのかを把握し、また子ども自身もキャリア教育でつけた力を実感できる取組みをすすめる必要があります。

その具体的な方法として、「中心取組み」ですすめるキャリア教育を提案します。これは、すでにある中学校区の全体指導計画に位置づけられた各学年の取組みの中から、子どもの変容を重点的に見取る取組み1つを「中心取組み」として設定しすすめていくものです。

「中心取組み」のすすめ方について、次ページから具体的に示していきたいと思ひます。

### 3. 「中心取組み」のすすめ方

#### (1) 「中心取組み」を決める

○全体指導計画に示している年間の取組みの中からそれぞれの学年で1つ「中心取組み」を決めましょう。  
 ○その際、学年の子どもの状況とともに、以下に示した条件をふまえ、思いや願いを教員間で共有しながら決めましょう。

- ・特に時間数を多く設定している
- ・子どもの変容や「つけたい力」がついたかを見取りやすい
- ・地域との連携が多い
- ・子どもに出会わせたい人たちとの活動がある
- ・人とのつながりを大事にしている
- ・学校全体のキャリア教育の系統性 など

#### 全体指導計画

〇中学校区「.....」	
小学校	
学年	1年生 2年生 3年生 4年生 5年生 6年生
共通課題の目標	1年生：しんぶん読み書き、家庭での生活習慣、地域での生活習慣 2年生：生活習慣の定着、生活習慣の向上、生活習慣の向上 3年生：生活習慣の向上、生活習慣の向上、生活習慣の向上 4年生：生活習慣の向上、生活習慣の向上、生活習慣の向上 5年生：生活習慣の向上、生活習慣の向上、生活習慣の向上 6年生：生活習慣の向上、生活習慣の向上、生活習慣の向上
つけたい力 (7領域別)	1年生：生活習慣の向上、生活習慣の向上、生活習慣の向上 2年生：生活習慣の向上、生活習慣の向上、生活習慣の向上 3年生：生活習慣の向上、生活習慣の向上、生活習慣の向上 4年生：生活習慣の向上、生活習慣の向上、生活習慣の向上 5年生：生活習慣の向上、生活習慣の向上、生活習慣の向上 6年生：生活習慣の向上、生活習慣の向上、生活習慣の向上
取組	1年生：生活習慣の向上、生活習慣の向上、生活習慣の向上 2年生：生活習慣の向上、生活習慣の向上、生活習慣の向上 3年生：生活習慣の向上、生活習慣の向上、生活習慣の向上 4年生：生活習慣の向上、生活習慣の向上、生活習慣の向上 5年生：生活習慣の向上、生活習慣の向上、生活習慣の向上 6年生：生活習慣の向上、生活習慣の向上、生活習慣の向上
中心取組み	1年生：しんぶん読み書き、いのちの大切さ 2年生：しんぶん読み書き、いのちの大切さ 3年生：しんぶん読み書き、いのちの大切さ 4年生：しんぶん読み書き、いのちの大切さ 5年生：しんぶん読み書き、いのちの大切さ 6年生：しんぶん読み書き、いのちの大切さ
年間の取組み	1年生：しんぶん読み書き、いのちの大切さ 2年生：しんぶん読み書き、いのちの大切さ 3年生：しんぶん読み書き、いのちの大切さ 4年生：しんぶん読み書き、いのちの大切さ 5年生：しんぶん読み書き、いのちの大切さ 6年生：しんぶん読み書き、いのちの大切さ
学習の実現	1年生：しんぶん読み書き、いのちの大切さ 2年生：しんぶん読み書き、いのちの大切さ 3年生：しんぶん読み書き、いのちの大切さ 4年生：しんぶん読み書き、いのちの大切さ 5年生：しんぶん読み書き、いのちの大切さ 6年生：しんぶん読み書き、いのちの大切さ

学年	3年生
中心取組み	わたしたちの町を調べよう！
年間の取組み	・わたしたちの町を調べよう！ ・じしゃくのふしぎをしらべよう ・心と体のひみつ ・昔のくらし ・人権学習 ・運動会 ・手話で話そう ・環境学習

小学3年生なら...

#### (2) アンケートを作成する

○「中心取組み」の前後で、子どもに「つけたい力」がついたのか、子どもがどのように変容したのかを見取るためのアンケートを作成しましょう。その際、以下に示している流れを参考にしてください。

#### 【「中心取組み」でつけたい「つながる力」】

- ・「自分のよいところや友だちのよいところを見つけることができる」
- ・「みんなのためにすすんで自分の役割を果たすことができる」
- ・「わからないことや困ったことがあったら、知っている人に聞くことができる」

①全体指導計画に基づき、「中心取組み」で「つけたい力」を具体化しましょう。例えば、「つけたい力」が「つながる力」の場合、左のように具体化しましょう。

#### <事前アンケート(例)>

わたしたちの町を調べよう！アンケート

3年 組 名前( )

アンケート(あてはまるところに○をつけましょう)

	そう思う	少し そう思う	あまり そう思 ない	そう思 ない
自分にはよいところがありますか				
しょうらのゆめや目標がありますか				
日ごろから自分の役わりをはたしていますか				
わからないことやこまったことがあったら知っている人に聞くことができますか				
地いきの大人と話することはありますか				

②自己肯定感や将来の生き方につながるような質問は1～2項目必ず設定しましょう。

③具体化した「つけたい力」から、取組み後の子どもの姿をイメージしながら、現時点の様子を把握できるよう2～3項目設定しましょう。

○子どもの変容を見取るために、アンケートは事前事後で同じ項目を含めるようにしましょう。

#### (3) アンケートを実施する

○「中心取組み」を実施する前と取組み後にアンケートを実施し、子どもの変容を見取りましょう。

#### (4)「中心取組み」を分析・検証する

##### ①子ども自身が振り返る

子ども自身が「中心取組み」の前後で自分がどのように変わったのかに気づき、自分の成長を実感するために、事前と事後のアンケートの比較や学習内容を蓄積したポートフォリオファイル等とあわせて学習を振り返り、自己評価できる時間を設定しましょう。自分の成長を理解することで次への学習意欲につながります。

##### ②個々の子どもの変容を見取る

教員は「中心取組み」の分析・検証に向けて、まずは個々の子どもがどのように変容したのかとらえましょう。そのためには、アンケート結果やワークシート、振り返りといった事後の情報だけでなく、活動中に気がついた子どもの様子のメモもあわせて見取りましょう。そして、子ども自身が成長したか、子どもの課題は何か、また、取組みの設定に課題はなかったかなどを検証しましょう。

<b>Aさんの場合 (例)</b>	事前アンケート	そう思う	少し そう思う	あまり そう思わ ない	そう思わ ない	→	事後アンケート	そう思う	少し そう思う	あまり そう思わ ない	そう思わ ない
	日ごろから自分の役わりをはたしていますか				○		この学習で自分の役わりをはたしましたか	○			

##### 【Aさんのアンケート結果からの分析】

「この学習で自分の役わりをはたしましたか」の項目で、Aさんが「そう思わない」から「そう思う」に変化した。

##### 【教員がとったメモからの分析】

Aさんは時計係と地図係として、グループ活動の時、道順や残り時間を伝えるなど、自分の役割をしっかりと果たすことができていたのを学年の教員が確認している。

**検証** → 友だちと協力して活動する機会を多く持つことで、友だちからの信頼を感じ、Aさんの責任感が強まったと考える。

<b>Bさんの場合 (例)</b>	事前アンケート	そう思う	少し そう思う	あまり そう思わ ない	そう思わ ない	→	事後アンケート	そう思う	少し そう思う	あまり そう思わ ない	そう思わ ない
	わからないことやこまったことがあったら知っている人に聞くことができますか		○				わからないことやこまったことがあったら知っている人に聞くことができましたか			○	

##### 【Bさんのアンケート結果からの分析】

「わからないことやこまったことがあったら知っている人に聞くことができましたか」の項目で、Bさんが「少しそう思う」から「あまりそう思わない」に変化した。

##### 【Bさんのワークシートからの分析】

Bさんのワークシートに「わからないことがあったけど、みんなが一しょけんめい書いていたのでめいわくになると思ったからきけなかった。あと、聞いたことを書く時間が少なかった。」と書いていた。

**検証** → インタビューした情報をその場で一人ひとりが書いてまとめるという作業にしてしまったため、自分の作業で精一杯になってしまった。Bさんが友だちと協力しながら書いてまとめる作業にすれば肯定的回答は下がらなかったと考える。

##### ③クラス、学年集団の変容を見取る

個々の子どもの変容を見取るとともに、クラスや学年集団としての変容について、アンケートの集計結果から分析・検証しましょう。その成果や課題を学校全体で共有しましょう。

##### クラスの場合 (例)

見取る方法	クラス、学年集団の変容	分析・検証
アンケート結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分にはよいところがありますか」の項目で、肯定的回答が26ポイント増加した。</li> <li>・「地いきの大人と話すことはありましたか」の項目で肯定的回答が100%になった。</li> <li>・「わからないことやこまったことがあったら知っている人に聞くことができましたか」の項目で、肯定的回答が2ポイント減少した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の終わりに、友だちどうしでがんばった姿を伝え合う時間を設定したことが、自己肯定感を高めることに効果的だったと考える。</li> <li>・インタビュー活動にむけた準備に時間を取ったことで、自信をもって、たくさんの町の人たちと話をすることができたと考え。</li> <li>・町の人にインタビューしたことをその場でまとめるのに時間がかかっていた子どもがおり、内容をまとめられないまま時間がたりなくなったグループがあった。困ったときに聞くことができる雰囲気づくりや周りに聞くことができるように時間配分を考える必要がある。</li> </ul>

# 4. 全体指導計画の検証と見直し

## (1) 学校全体でキャリア教育の取組みを共有する

○各学年で実施したキャリア教育の取組みについて、「中心取組み」での子どもの変容を中心に、子どもの発達段階に応じた取組みになっているか、学年の次の取組みや次年度への接続を意識した取組みになっているかなど、学校全体で検証し、共有しましょう。

## (2) 中学校区で全体指導計画を見直す

○各学校の検証をもとに、中学校区の教員で集まり、次年度に向けて全体指導計画を見直しましょう。その際、以下の観点で話し合います。

- ①子どもたちに「つきたい力」がついたのか
- ②「ねらい」は適切だったのか
- ③「中心取組み」の設定は適切だったのか
- ④年間の取組みの設定は適切だったのか
- ⑤個々の子ども、クラス、学年、学校全体がどのように変容したのか

見直し例

校区のめざす子ども像		〇〇中学校区「……………」									
校種						中学校					
学年	1年生		2年生		3年生		1年生		2年生		3年生
発達段階の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・じぶんだいじ</li> <li>・友だちだいじ</li> <li>・ともだちとたのしみ</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の力をいかして行動しよう</li> <li>・いろんな人とかがわって行動しよう</li> <li>・自分や仲間を大切にしよう</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会とつながろう</li> <li>・生き方を考えよう</li> <li>・仲間と認め合い、学びあおう</li> </ul>
つきたい力 (下線は重点項目)	<u>つながる力</u> わかる力 きめる力 えがく力 チャレンジする力		<u>つながる力</u> わかる力 きめる力 えがく力 チャレンジする力		<u>つながる力</u> わかる力 きめる力 えがく力 チャレンジする力		<u>つながる力</u> わかる力 きめる力 えがく力 チャレンジする力		<u>つながる力</u> わかる力 きめる力 えがく力 チャレンジする力		<u>つながる力</u> わかる力 きめる力 えがく力 チャレンジする力
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちがいを認め合い、高めあおう</li> <li>・一緒に学ぶ楽しさを</li> <li>・知る</li> <li>・集団生活でのルールや決まりを守り、自分の生活を振り返る</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちがいを認め合い、高めあおう</li> <li>・仲間と協力して、やりとりを</li> <li>・知る</li> <li>・自分の生活や経験を振り返る</li> <li>・グループ生活でのルールや決まりを守り、自分の生活を振り返る</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちがいを認め合い、高めあおう</li> <li>・仲間と協力して、やりとりを</li> <li>・知る</li> <li>・自分の生活や経験を振り返る</li> <li>・グループ生活でのルールや決まりを守り、自分の生活を振り返る</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちがいを認め合い、高めあおう</li> <li>・自分や仲間を大切にしよう</li> <li>・仲間と協力して、やりとりを</li> <li>・知る</li> <li>・自分の生活や経験を振り返る</li> <li>・グループ生活でのルールや決まりを守り、自分の生活を振り返る</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちがいを認め合い、高めあおう</li> <li>・自分や仲間を大切にしよう</li> <li>・仲間と協力して、やりとりを</li> <li>・知る</li> <li>・自分の生活や経験を振り返る</li> <li>・グループ生活でのルールや決まりを守り、自分の生活を振り返る</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちがいを認め合い、高めあおう</li> <li>・自分や仲間を大切にしよう</li> <li>・仲間と協力して、やりとりを</li> <li>・知る</li> <li>・自分の生活や経験を振り返る</li> <li>・グループ生活でのルールや決まりを守り、自分の生活を振り返る</li> </ul>
中心取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・じぶんたんけん</li> <li>・オペレッタ</li> <li>・いきものとなかよし</li> <li>・花を育てよう</li> <li>・おもちゃまつり</li> <li>・ペア学級</li> <li>・人権学習</li> <li>・ものづくり体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おそうじだいじ</li> <li>・いのちの大切さ</li> <li>・人権学習</li> <li>・野菜を育てよう</li> <li>・係活動</li> <li>・日曜市</li> <li>・福祉学習</li> <li>・ものづくり体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしたちの町を調べよう!</li> <li>・じしゃくのふしぎをしらべよう</li> <li>・心と体のひみつ</li> <li>・福祉学習</li> <li>・ものづくり体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉学習</li> <li>・身を守るワーク</li> <li>・ソーシャルスキルトレーニング</li> <li>・仕事もプロに</li> <li>・出会う</li> <li>・福祉学習</li> <li>・ものづくり体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ものづくり体験</li> <li>・人権学習</li> <li>・新聞社見学</li> <li>・多文化共生</li> <li>・合唱コンクール</li> <li>・ものづくり体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平和学習</li> <li>・数学旅行</li> <li>・自然体験学習</li> <li>・異学年交流</li> <li>・異学年交流</li> <li>・異学年交流</li> <li>・ものづくり体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の魅力を世界へ発信!</li> <li>・地域の魅力を世界へ発信!</li> <li>・環境について考えよう</li> <li>・異学年交流</li> <li>・異学年交流</li> <li>・異学年交流</li> <li>・ものづくり体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験～ワクワクワーク</li> <li>・職場体験～ワクワクワーク</li> <li>・文化祭</li> <li>・FWイン大阪</li> <li>・異学年交流</li> <li>・異学年交流</li> <li>・異学年交流</li> <li>・ものづくり体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスミーティング</li> <li>・進路学習</li> <li>・人権学習</li> <li>・異学年交流</li> <li>・異学年交流</li> <li>・異学年交流</li> <li>・ものづくり体験</li> </ul>		
年間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>③ 子ども自身が自分の成長を特に実感できる取組みだったので、3年生の「中心取組み」としてふさわしい。</li> <li>→3年生の「中心取組み」は継続する</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>② 「仲間と協力して」や「仲間とともに」はめざす子ども像にもつながる重要なポイントであることをあらためて各学校で共有する必要があります。</li> <li>→すべての学年で「仲間と…」を「ねらい」として系統性を持たせる</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>④ 「多文化共生」は5年生だけのキャリア教育ではなく、小学校全学年で取組み、中学1年生の取組みにつなげよう。</li> <li>→「多文化共生」を全学年の年間の取組みにするとともに、取組みを精査する</li> </ul>
子どもの変容	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑤ 集団としての変容だけでなく、個々の子どもの変容を細かく中学校区で共有できるような見取り方を次年度に向けて工夫する必要があります。</li> <li>→中学校区では個々の子どもの変容を見取することを重視すると確認し、次年度に引き継ぐ</li> </ul>										

○見直した全体指導計画は、必ず学校の年間計画に反映し、すべての教職員で共有しましょう。